PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

01-218461

(43) Date of publication of application: 31.08.1989

(51)Int.Cl.

A61M 1/00

A61M 5/14

(21)Application number: 63-043320

(71)Applicant: NIPPON ZEON CO LTD

(22) Date of filing:

27.02.1988

(72)Inventor: TAKAGI KIYOSHI

MIYATA SHINICHI

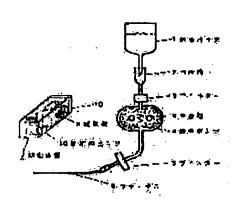
KAWABATA TAKASHI

(54) LIQUID TRANSPORTER

(57) Abstract:

PURPOSE: To prevent a trouble for a long time, simultaneously, to reduce an error, and to facilitate the operations of the switching of a pump, a washing, etc., by mountable and removably linking the main moving shaft and driving shaft of the pump and using the pump in which a displacement is fixed.

CONSTITUTION: A transfused liquid from a liquid-transfusing bag 1 goes through an Instillation cylinder 2 into the liquid suction port of a gear pump 4, exhausted from an exhaust port, and introduced through a filter 5 from a catheter 6 to the necessary part of a patient. In a driver 7, a power source battery, a small- sized motor, a drive control circuit, a conditions setting dial, etc., are incorporated, a driving shaft 8 of the driver is made into a hexagonal pillar for the linkage of the driver and gear pump, a fitting hole 9 is provided to the main moving gear of the pump, the pump and driver are fitted, and thereafter, a firm fixation is executed by a hinge 10 for fixing a shaft. By using the pump, for example, the gear pump, in which the displacement in the middle of the drive is fixed, a stable liquid sending can be secured for a long period.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration)

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection)

平1-218461 ⑫ 公 開 特 許 公 報(A)

識別記号 (1) Int. Cl. 4 A 61 M 1/00

庁内整理番号

❸公開 平成1年(1989)8月31日

5/14

3.00 3 4 5 7819-4C 7603-4C

未請求 請求項の数 4 (全4頁) 審査請求

60発明の名称 輸液装置

> ②特 顧 昭63-43320

願 昭63(1988) 2月27日 @H

木 @発 明 者 髙

神奈川県横浜市金沢区片吹7-25 清

Ħ ⑫発 明 者 ⑫発 明 者 Ш

神奈川県海老名市大谷40-1-1-138 埼玉県蓮田市緑町1丁目7-6 司

日本ゼオン株式会社 创出 願 人

東京都千代田区丸の内2丁目6番1号

圭 司 弁理士 松永 分代 理

1. 発明の名称

翰液装置

2. 特許請求の範囲

- 1. 液体移送回路中に、ポンプ部分と該ポンプ駆動 部分とからなるポンプ機構が一体として組み込ま れていることを特徴とする輪液装置。
- 2. ポンプ部分と該ポンプ駆動部分が脱着自在であ る請求項1記載の輪液装置。
- 3. ポンプ機構において、駆動中の押しのけ客積が 一定である請求項1又は2記載の輸液装置。
- 4. ポンプ機構で、駆動中において一定の押しのけ 容積がロータの移動に伴って吐出される請求項1 又は2記載の輪液装置。
- 3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、医療分野において、特に患者への薬 液、栄養剤の注入及び輸血等に簡易で、ポンプの 洗浄, 交換性に優れ、 かつ送波流費の安定性に優 れた輪波装置に関するものである。

[従来の技術]

従来、フィンガーポンプを使用して輪液を行な うシステムが用いられて来た。また、特開昭59 - 149151には等速輸送運動を行なうように したピストン型ポンプの使用が提案されている。

輪液装置用ポンプとしては特に次の要件、即ち、

- (1) 無菌的に液を送り込むことができること。
- (2) 接液部分は、患者が変わるごとに容易に新品 に取り替え可能なこと。
- (3) おおよそ1週間程度の連続使用に耐え得る耐 久性に見合う価格であること。
- (4) 微弧定量供給, 例えば 1 cc/min.の供給量で、 誤差±2~3%程度で少なくとも1週間連続 運転できること」を充す必要がある。

フィンガーポンプは、上記(1),(2)の要件は充さ れるものの、チューブの耐久性に限界があり、 数 時間から数日間しか用いられない,またチューブ のクリープ変形によって同一駆動条件下でも、 流 量が時間とともに変化してしまう、さらに負荷変

動によって流量が大きく変化してしまう等の欠点 があり、ピストン型ポンプは流速を一定とするた めに装置が複雑となる。

また、従来の工業用ポンプ装置では、ポンプは 駆動装置(モーター)と機械的に強固に結合され ており、ポンプを取り外して交換することが非常 に面倒であり、また必要によりポンプを洗浄また は消毒することが難しく、上記4項目の要件を充 すものは見当らない。

[発明が解決しようとする課題]

本発明者らは、上記の輸液装置用ポンプの具備 すべき製件を見え、かつ、ポンプと駆動装置とが 容易に脱密できる機構を研究し本発明に到達した。 [課題を解決するための手段]

上記目的を達成するために、本発明によれば、 液体移送回路中にポンプ機構を一体に組込んでな る輪液装置であって、ポンプの主動軸とポンプを 駆動する駆動装置の駆動軸とが脱着自在に連結さ れた輪液装置が提供される。

即ち、本発明においては、微量送液であっても

係合を、 片方をその軸方向に移動させて抜き差し して脱着することができ、 噛み合いクラッチ、 摩 接クラッチも同様である。

電磁クラッチは電磁作用により駆動力を伝達するもので、ヒステリシスクラッチ、過電流クラッチ、インダクションクラッチが挙げられ、何れの場合も駆動側と従動側とは無接触状態で駆動されるので、容易に脱충することができる。

他の前記したポンプにおいても、同様の脱着で きる結合が採られる。

このように駆動装置との脱着を容易に出来るようにし、さらにポンプの吸込口の直前にフィルターを装着することにより、無菌的に送液することを可能としたものである。

本発明の1実施例の概略系統図を示すと、第1 図の如くであって、輪液バッグ(1)からの輪液は、 点滴筒(2)を経てポンプ直前に取り付けられたフィルター(3)から歯車ポンプ(4)の吸液口に入り、 1対の歯車の歯とケーシングの間に封入されて排 出口から排出されフィルター(5)を経てカテーテ 長期にわたり、 定量送液を確保できるボンブを輸 液装置に組み込むこととし、 例えばエンジニアリ ングブラスチックスを用いて製作することにより、 その小型化, 軽量化および経済性を達成した。

前記ポンプとしては、駆動中の押しのけ容積が一定であるポンプが用いられ、特に一定の押しのけ容積がロータの移動に伴って吐出されるポンプが好ましく用いられる。 これらのポンプとして後者の場合、歯車ポンプ、オーバルギャポンプ、ベーンポンプ、ネジポンプ、ルーツポンプ等が用いられ、前者の場合、これらに往復ポンプがさらに用いられる。なかでも、歯車ポンプが好適に用いられる。

ポンプが駆動装置から容易に取り外すことのできる結合方法として、例えば歯車ポンプにおいて、 嵌合係着、歯車の組合せ、機械的な噛み合いクラッチ、原接クラッチ、もしくは電磁作用による電 磁クラッチを駆動装置から歯車ポンプへの駆動力 の伝達方式として採用することができる。 嵌合係 籍、歯車の噛み合わせでは、ポンプと駆動装置の

ル(6)から患者の所要部位に導入される。

歯車の暗み合わせ連結や機械的なクラッチ, 電 磁クラッチによる連結の場合には、例えばポンプ、 駆動装置の何れかをスライドレールに沿って公知 の方法で前後に移動、固定及び解除ができるよう にすればよい.

[作用]

本発明においては、駆動装置とポンプが前記のような連結方法で連結合体され、スタンドに取り付けられ、使用される。

また、使用終了とともにポンプを駆動装置から 取り外し交換し、または必要に応じ洗浄、緩菌消 雅される。

本発明では歯車ポンプ等、 駆動中の押しのけ客 積が一定であるポンプを使用することにより、 長 期間にわたり安定な送液が確保される。 本発明に 係るエンジニアリング ブラスチック 製歯車ポン プと従来から使用されているフィンガーポンプと について、 それぞれ3 基のポンプを使用し、 耐久 性, 流量の変動及び負荷変動について流量2 cc/ min.の条件で実験を行なった。 結果を第2 図、 第 3 図及び第4 図に示す。

第2図に示すようにフィンガーボンブではチューアの接触位置をすらすことなく運転したところ、 3 基とも何れもチューブの破断により、3日以下

さらに、 ボンブは駆動装置と容易に連結及び切り難しができるので、 ボンブの交換、 洗浄等の操作が容易となり、 医療施術上非常に有益である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明装置の構造説明図で、第2図はフィンガーボンプと本発明に係る歯車ボンプの耐久性を比較した図面で、第3図は同じく運転時間による流量の変動誤差を比較した図面で、第4図は同じくボンプの出口圧力の変化による流量の誤差変動を比較した図面である。

(1)…輪被バッグ, (2)…点滴筒, (3)…フィルター, (4)…歯車ボンブ, (5)…フィルター, (6)…カテーテル, (7)…駆動装置, (8)…駆動軸, (9)…嵌合腔, (10)…固定用ヒンジ。

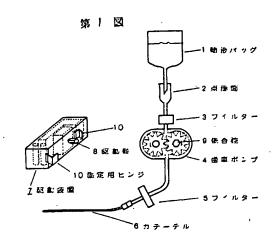
特許出願人 日本ゼオン株式会社 代理人 弁理士 松永 圭 司 で破損した。これに対し、本発明に係るボンブは、 2週間異常なく運転ができた。

また運転時間と誤差変動の関係では、第3図のように、フィンガーボンプでは、誤差範囲はチューブがクリーブ変形を起こすため、クリーブが収まり、安定化するまで約5%幅の変動が生じたが、本発明の歯車ボンプでは誤差は±1%の範囲内に収まっている。

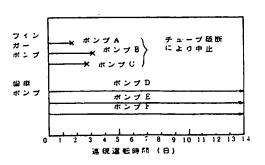
さらに、ポンプ排出口で絞り弁で絞って、ポンプ出口圧力を変化させた負荷変動実験では第4図に示すように、誤差範囲はフィンガーポンプでは5%以上の幅で変動したが、歯車ポンプでは±1%の変動で収まり、安定な運転が示された。

[発明の効果]

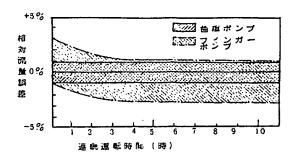
本発明によれば歯車ボンブ等の駆動中の押しのけ容積が一定であるボンブを採用することにより、 微少の送液速度であっても長時間にわたり、 故障 することなく、 かつ誤差が少なく、 負荷変動に対 し流量の変動が小さいので、 輸液装置として極め て好ましい。



第2図







第 4 図

